

電動給湯ポット 2.2L/3.0L

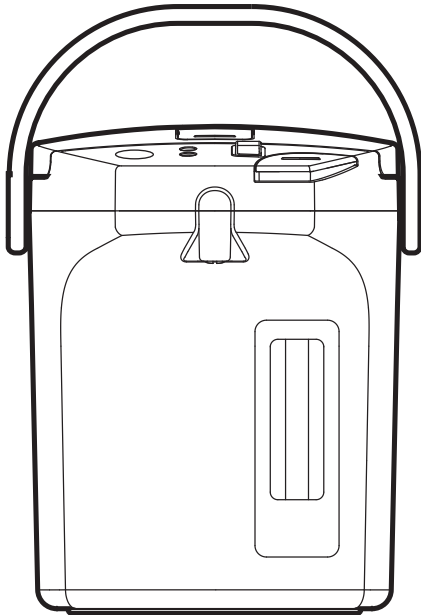
HC-EP22/HC-EP30

取扱説明書

本製品は家庭用です。不適切な取り扱いが事故につながりますので、初めて使用する際は必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、適切な取り扱いをお願いいたします。

この取扱説明書は大切に保管してください。

保証書付



もくじ

使用の前に/安全上の注意	1~3
各部のなまえとはたらき	4
正しい使い方	5~7
使用后	7
お手入れの方法	8
故障かな?と思ったときは	9
消耗部品の交換・購入について	9
アフターサービス	10
仕様	10
保証書	11

- 注ぎたい位置でお湯が注げる360度回転底です。

**再沸とう・
カルキとばし**

保温中のお湯を再沸とうできます。水道水のカルキ臭をとばします。

**お湯の出口が
見えやすい**

注ぎこぼしを防ぐ安心設計

**内容器
フッ素加工**

汚れがつきにくくお手入れ簡単

**水量
スッキリ表示**

お湯の残量がわかりやすい水量計付きです。

使用の前に／安全上の注意

○本製品やこの取扱説明書に示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

人が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容

⚠ 注意

人が傷害を負う恐れ及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中には具体的な注意内容(上図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中には具体的な指示内容(上図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜く)が描かれています。

○お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



差し込みプラグの刃(先端)および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く。

火災の原因になります。



差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない。

感電やケガをする恐れがあります。



禁止

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよくふったり、衝撃を加えない。上フタがはずれたり、お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



禁止

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・ケガをする恐れがあります。



禁止

蒸気口をふきんなどでふさがない。

お湯が吹きこぼれてやけどをする恐れがあります。

⚠ 警 告

 <p>満水目盛(ここまで)以上の水を入れない。 お湯が吹きこぼれ、やけどの恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	 <p>交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。</p> <p>禁 止</p>
 <p>氷を入れて保冷用に使わない。 結露が生じ、感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>禁 止</p>	 <p>水以外のものは入れない。 お茶、牛乳、酒、レトルト食品等を入れると吹きこぼれてやけどの恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
 <p>器具用プラグ(磁石式)の先端にピン等金属片やごみを付着させない。 感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>禁 止</p>	 <p>改造はしない。また修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。 火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。</p> <p>分解禁止</p>
 <p>上フタを「カチツ」と音がするまで確実に閉める。 沸とうが止まらなくなったり、倒れた時にお湯が流れ出てやけどの恐れがあります。</p>	 <p>上フタを付けたまま残り湯をすてない。 上フタがはずれたり、閉じたときにお湯がかかってやけどをする恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
 <p>使用中、差し込みプラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する。 ショートや発火の原因になります。</p>	 <p>水につけたり、水をかけたりしない。本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。 感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>水ぬれ注意</p>
 <p>蒸気口や注ぎ口に手を触れない。 やけどをする恐れがあります。特に乳幼児には触らせないように注意してください。</p> <p>接触禁止</p>	 <p>上フタを勢いよく閉めない。 お湯の吹きこぼれ、やけどの恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
 <p>本体を持ち運ぶときは、上フタ開閉ロックに触れない。 フタが開いてケガ、やけどをする恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>	 <p>器具用プラグをなめさせない。 乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。感電やケガの恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
 <p>ポットを転倒させない。 お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。また、倒れたポットは、お湯の噴き出しがおさまるまで触らないでください。</p> <p>禁 止</p>	 <p>異常・故障時には、直ちに使用を中止する。 そのまま使用すると火災・感電・ケガをする恐れがあります。</p> <p>禁 止</p>
 <p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、はさみ込んだり、加工したりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p> <p>禁 止</p>	<p><異常・故障時例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・差し込みプラグ、電源コードが異常に熱い。 ・電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。 ・保温ランプに切り換わらないときがある。 ・その他異常・故障がある。 <p>すぐに差し込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に点検、修理を依頼してください。</p>



注意



熱に弱い敷物の上では使用しない。

禁止

火災や敷物の変色・変形の原因になります。



壁や家具の近くで使わない。

禁止

蒸気が当たって、壁や家具などを傷める原因になります。



湯沸かし中は、湯を注いだり上フタを開けたりしない。

禁止

お湯が飛び散ったり、蒸気でやけどの恐れがあります。



お湯を注いでいるときに本体を回さない。

禁止

お湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。



上フタを開けるときに出る蒸気や内フタに触れない。

接触禁止

やけどの恐れがあります。



使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く。

プラグを抜く

ケガ、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



使用中や使用後しばらくは、本体や上フタなど高温部に触れない。

接触禁止

やけどの恐れがあります。



お手入れは冷えてから行う。

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。



差し込みプラグや器具用プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のプラグ部を持って引き抜く。

感電やショートして発火の原因になります。



専用の電源コード以外は使用しない。

禁止

また、電源コードを他の機器に転用しない。

故障、発火の原因になります。



不安定な場所や床の上などに置かない。

禁止

転倒してケガ、やけどの恐れがあります。



内フタパッキンが白く変色したら交換する。

傾けたり、誤って倒したりしたとき、お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

お願い

●水を入れずに通電しない。

内容器が変色したり
火災・故障の原因になります。

●湯沸かし中や沸とう直後の蒸気が出ていているときは持ち運ばないでください。

やけどの恐れがあります。

各部のなまえとはたらき

上フタ開閉ロック

給湯ロック

注ぐときは「解除」にします。「ロック」にすると給湯ボタンを押せません。

警告

●「ロック」にしているも、本体を傾けたり倒すと、注ぎ口や蒸気口からお湯が流れ出ます。やけどの原因になりますので注意してください。

再沸とう・カルキとばしボタン

押すとカルキとばし沸とうになります。

沸とうランプ

湯沸かし時に点灯します。

保温ランプ

保温時に点灯します。

注ぎ口

給湯ボタン

押している間お湯が出ます。

フィルター

異物が入るのを防ぎます。

水量表示パネル

器具用プラグ

磁石式です。

電源コード

水量表示計



← 水位

← 給水マーク
ここまで減ったら必ず水を入れてください。

上フタ

上フタのはずし方
取り付け方



着脱レバー

(はずし方)

着脱レバーを押し下げて上フタを開けて持ち上げるとはずれます。
※上フタを開けた状態では安全のため着脱レバーは動きません。

(取り付け方)

約30度以下の角度で上フタの軸を着脱レバーに取り付けます。

蒸気口

やけどに注意してください。

ハンドル

プラグ受け

電動ポンプ

回転底

360度自由に回ります。
(電源コードも一緒に回ります。)

本体

差し込みプラグ

内フタパッキン

白く変色したら交換してください。(有料)

内フタ

ステンレス製

満水目盛

満水目盛(ここまで)以上に水を入れないでください。

内容器

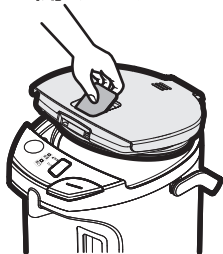
ステンレス製フッ素加工

本製品を振ったりすると、カタカタと音がします。これは万が一転倒したときにお湯の流出を最小限にする弁の音で異常ではありません。

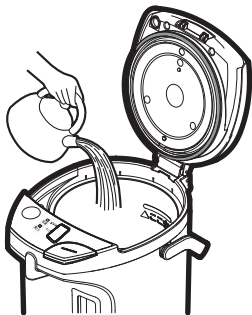
正しい使い方

① 水を入れる

- 上フタ開閉ロックをつまみ上げ、上フタを開けてください。



- やかんや水差しなどで水を入れてください。



※ 容器底のフィルター部に直接水をかけないでください。注ぎ口から水が出ることがあります。

⚠ 警告

- 満水目盛以上の水を入れしないでください。お湯が吹きこぼれ、やけどの恐れがあります。

⚠ 注意

- 不安定な場所で使わないでください。転倒の危険があります。

熱に弱い敷物の上やカーテンのそばで使わないでください。変色や変形の恐れがあります。

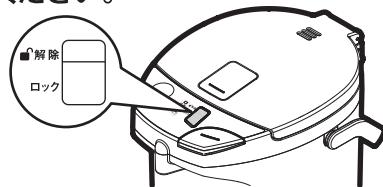
- 水を入れしないで、通電しないでください。空だきをするとう内容器が熱変色したり、故障の原因となります。
- 給水マーク付近で沸かすと蒸気が多く出ることがあります。

② 上フタを閉めプラグを差し込む

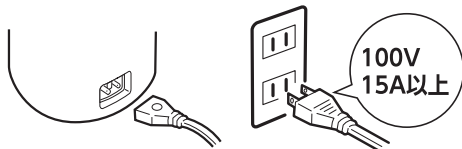
- 上フタを「カチッ」と音がするまでゆっくり確実に閉めてください。

※ 上フタが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなります。

- 給湯ロックを「ロック」にしてください。



- 器具用プラグを本体のプラグ受けに、差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んでください。



器具用プラグ

差し込みプラグ

⚠ 警告

- 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
- 器具用プラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

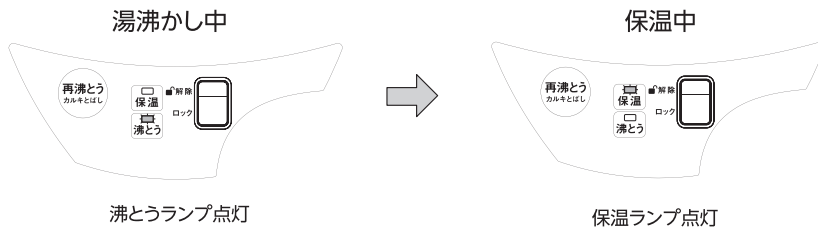
- 本体を回すと、電源コードも一緒に回りますので注意してください。

⚠ 注意

- プラグを差し込んでいると通電状態になり電力を消費しますので、使用しない時はプラグを抜いてください。

○初めて使用になるときや、しばらく保管されていたときは、お湯を沸かし給湯ボタンを押してお湯を出し、残り湯を捨ててください。(捨てる方は7ページをご覧ください。)

③沸かす・沸とう→保温



- プラグを差し込むと自動的に加熱が始まり、沸とうすると自動的に保温になります。
- このときの沸とうは、カルキとばし沸とうになり、蒸気が蒸気口より約1～3分間出ます。
- 使用中は、本体が熱くなります。取り扱いに注意してください。

《時間の目安》

	カルキとばし沸とう
2.2L	約21分
3.0L	約28分

水量:満水 電圧:100V
水温:室温 23℃

●冷めたり、水を注ぎたした時に、再び沸かす場合

- 冷めたり、水を注ぎたすと、自動的に湯沸かしが始まります。この場合カルキとばし沸とうにはなりません。カルキ臭などが気になる場合は再沸とう・カルキとばしボタンを押してください。
- 注ぎたす水の量が少ない場合や、お湯を注ぎたした場合に、すぐに湯沸かし状態にならないことがあります。

●再沸とうさせる場合

- 再沸とうボタンを押してください。沸とうランプが点灯してカルキとばし沸とうを始めます。
 - 沸とう直後は、再沸とう・カルキとばしボタンを押しても沸とうに切り替わりません。約20分位まってから再沸とうボタンを押してください。
- ※保温中に沸とうランプが点灯して、湯沸かし状態になることがありますが、これは保温温度を調整しているためで故障ではありません。

◎空だき防止

水の入れ忘れや使用により湯量が減り、内容器に水がない空だき状態にならないようにしてください。空だき状態を検知したら、ヒーターへの通電を自動的に切りますが、内容器の熱変色・故障の原因になります。

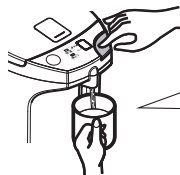
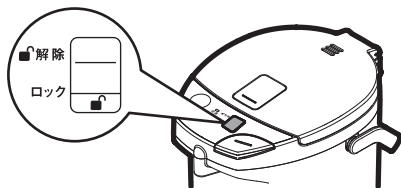
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、カルシウム分が付着しやすく変色やお湯の出が悪くなる原因になります。こまめにお手入れしてください。

正しい使い方つき

○お湯を入れたままで上フタを閉めてポットを振ったりするとお湯が噴き出る場合がありますので、おやめください。

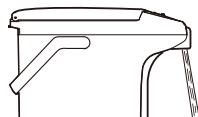
④ お湯を注ぐ

●給湯ロックを「解除」してから、給湯ボタンを押してお湯を注いでください。



コップなどを注ぎ口の下に近づけて注ぐ

- 給湯ボタンを押すときに本体が回らないように注意してください。
- 内容器が空の時は給湯ボタンを押さないでください。また、給湯ボタンは2分以上押し続けしないでください。
(電動ポンプの故障の原因となります。)
- 湯は注ぎ口から少し斜め前に出ますので開口の小さな容器などに注ぐ時は注意してください。
(湯が飛び散ってやけどをする恐れがあります。)



お湯が出にくい場合は

- 沸とう直後は気泡がポンプ内に入り込みお湯が出にくいことがあります。その場合は一度上フタを開けてから上フタを閉め、再び給湯ボタンを押してください。
- 給湯中に湯が出にくくなった場合も一度上フタを開けてから、上フタを閉め、再び給湯ボタンを押してください。

●注ぎ終わったら、給湯ロックを必ず「ロック」にしてください。

- 湯量が給水マークまで減ったらすぐ水を注ぎたすか、差し込みプラグを抜いてください。
- 注ぎ終わったとき、注ぎ口からしずくが落ちることがありますので、しばらくしてからコップなどをお取りください。

⚠ 注意

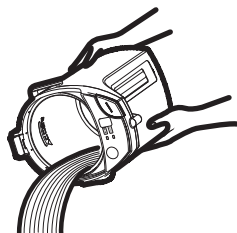
- 上フタを勢いよく閉めないでください。
お湯が吹きこぼれ、やけどの恐れがあります。

使用後

- ①差し込みプラグ・器具用プラグをはずしてください。
- ②上フタをはずし、注ぎ口を上側にして図のような方向から残り湯を捨ててください。

残り湯の捨て方

- ※清潔さを保つために1日1回は残り湯を捨ててください。
- ※残り湯を捨てる際はプラグ受けにかからない様にしてください。
- ※フィルターはなくさないようにしてください。



お手入れの方法

- ◎ご使用いただくうちに内容器やフィルターが変色(さび状のもの、乳白色、黒色など)したり、お湯の中に白い浮遊物が混じったりする場合があります。これは水質により生じる水アカです。内容器やフィルター自体の変色や腐食ではなく、また、衛生上も問題ありませんが、これらがフィルターに付着したり電動ポンプ内に入ったりすると、故障の原因になります。

⚠ 警告

- 水につけたり、水をかけないでください。ショート・感電の原因になります。

内容器のお手入れ

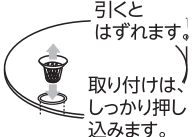
- ぬるま湯か水を少量入れ、スポンジたわしで洗ってください。
- 変色などが取れにくい場合は次の方法でお手入れください。
 - ①市販の洗浄用クエン酸を内容器に入れる。(約30g;大さじ2~3杯)
 - ②満水目盛まで水を入れ、お湯を沸かして2~3時間そのまま放置する。
 - ③お湯を捨て、スポンジたわしでこすり落とす。
 - ④水で充分すすいだあと、ニオイをとるため再び満水でお湯を沸かし、そのお湯を捨てる。

●さび状のもの(もらいさび)は水に含まれる鉄分などが酸化し付着したものです。こまめにお手入れしてください。

●水に含まれるミネラル分が白い粉となって内容器に固着することがあります。

●フッ素加工をしていますが、長時間お手入れをしないと変色が取れにくくなります。

フィルターのお手入れ

- フィルターはフッ素加工をしておりますので、1週間を目安に、内容器の底から取りはずし、ブラシなどでよく洗ってください。
- ※汚れが取れない場合は交換してください。交換の際は、本製品の品番をお確かめのうえお買い上げの販売店で求めください。
- フィルターは必ず取り付けて使用してください。フィルターを取り付けずに使用すると、異物が電動ポンプ内に入りお湯が出なくなるなど故障の原因になります。

上フタ・本体外側のお手入れ


- やわらかい布を水につけ、固くしぼってから拭いてください。汚れが取れにくい場合は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をうすめた湯をやわらかい布にふくませ、固くしぼってから拭いてください。
- ※洗剤を使用した場合は水だけで固くしぼったやわらかい布で充分拭いてください。

長時間ご使用にならないときは

- 上フタ、本体、内容器などの汚れを落としたあと、乾いた布で拭き、充分乾燥させてください。特に内容器は充分に乾燥させてください。
※食器乾燥機で乾燥させないでください。
- ポリ袋をかぶせ、箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな?と思ったときは

○次の項目について点検を行ってください。いずれの場合にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。

症 状	原 因	処 置
お湯が沸かない	差し込みプラグ、器具用プラグがはずれていませんか。	プラグを差し込む。
	器具用プラグの先端に金属片やごみが付着していませんか。	差し込みプラグを抜いてから器具用プラグの先端を掃除する。
お湯が出ない・出にくい	差し込みプラグ、器具用プラグがはずれていませんか。	プラグを差し込む。
	器具用プラグの先端に金属片やごみが付着していませんか。	差し込みプラグを抜いてから器具用プラグの先端を掃除する。
	給湯ロックが「ロック」になっていませんか。	お湯を注ぐときは「  解除」にしてから給湯ボタンを押してください。
	フィルターが水アカなどで目詰まりしていませんか。	フィルターをはずして掃除をしてください。(P8参照ください)
	沸とう直後は出にくいことがあります。	一度上フタを開けてください。(開けるとき蒸気に注意してください)
お湯が自然に出る	満水目盛以上の水を入れていませんか。	水を減らしてください。
お湯がにおう	使い初めは、樹脂などのニオイがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
	水に含まれる成分などによってはニオイがすることがあります。	カルキ臭のときは再沸とうボタンを押してください。
湯沸かし中に音がする	湯沸かし中に発生する泡がはじける音で故障ではありません。	
本製品を振ると音がする	万一転倒したときにお湯の流出を最小限にする弁の音で異常ではありません。	
保温中に沸とうランプが付く	保温中は湯の温度を85℃～95℃で調整しています。	

消耗部品の交換・購入について

- 内フタパッキンは消耗部品です。白く変色したり、変形や破損がある場合は新しい部品(有料)と交換してください(部品には交換説明書が付属しています)。
- 交換の際は、本製品の品番をお確かめの上、お買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。

アフターサービス(必ずお読みください。)

- 保証書の内容の確認と保管のお願い。
必ず「販売店およびお買い上げ日」をご確認の上、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 修理を依頼されるとき
【保証期間中】
お買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。
保証書の記載内容に基づき修理をさせていただきます。
【保証期間を経過しているとき】
お買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理させていただきます。
- 電動給湯ポットの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年間です。
●この期間は経済産業省の指導によるものです。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 上記内容についての詳細、ご贈答品・ご転居の場合など、その他本製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、本保証書に記入してある販売店または、「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。



⚠ 警告

●改造はしないでください。また修理技術者以外の方は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・ケガの原因となります。

仕様

※特定地域(高い山・厳寒地など)においては所定の性能が確保できないことがあります。

品番	HC-EP22	HC-EP30	
定格容量	2.2L	3.0L	
定格	交流100V(50/60Hz)700W		
消費電力量 ※1	1日当たり(kWh)	1.06	1.24
	年間(kWh)	387	453
外形寸法 (ハンドルを倒した状態) ※2	幅	21.3cm	
	奥行	27.9cm	
	高さ	25.3cm	29.6cm
質量(コードを含む)※2	1.9kg	2.0kg	
温度ヒューズ	133℃		
コードの長さ※2	1.4m		
電動ポンプ※2 消費電力/定格時間	1.5W/2分		

※1 消費電力量は、JEMA(日本電機工業会)自主基準による測定。
(室温:23℃、湯沸かし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温23時間/1日、365日/年間)

※2 おおよその値です。

電動給湯ポット2.2L/3.0L保証書

持込修理

品番	HC-EP22/HC-EP30		
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	本体 1 年
お客さま	ご住所 ご芳名	様 電話()	—
販売店	住所 店名	電話()	—

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの店に修理をご依頼ください。


(無料修理規定)

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの店で無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、本製品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの店に依頼してください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼できない場合には、下記の「トップバリュお客さまサービス係」へ相談してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) 落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

修理メモ

※この保証書は本書に表示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの店または、下記の「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。
 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」をご覧ください。

 愛情点検	長年ご使用の 電動給湯ポットの 点検を！	こんな症状ありませんか ●差し込みプラグ・コードが異常に熱い。 ●コードを折り曲げると通電したり、しなくなったりする。 ●保温ランプに切り替わらないときがある。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中 止	差し込みプラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)を相談してください。

●中国製

販売者 **イオン株式会社**
 〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
 ●トップバリュお客さまサービス係
 TEL.0120-30-1580 (10~17時:日曜日は除く)